

平成24年度 第1学年 音楽科 年間指導計画

教科の目標	(1)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 (2)多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫をして表現する能力を育てる。 (3)多様な音楽のよさや美しさを楽しむ、幅広く主体的に幅広く鑑賞する能力を育てる。
--------------	---

月	単元・題材名	時数	学習内容	学習のねらい	評価項目	道徳の項目
4	オリエンテーション 心を伝え合う歌い方を求めて	5	「五日市南中学校校歌」 「Forever」 「My Voice!」① 「朝の風に」	・学習内容や授業の受け方について確認する。 ・歌詞の内容を味わい、その言葉を聴き手に届けるような歌い方を工夫する。 ・歌唱のベーシックを理解し、正しい呼吸法、発声法を実践する。	授業観察 実技テスト 定期テスト 忘れ物 発表 提出物	4-(7) 愛校心、校風の樹立
5	アルトリコーダーの音色 情景と音楽との関わり 旋律のまとまりと構成	4	アルトリコーダーLESSON1 「喜びの歌」「かっこう」 「聖者の行進」 春 第1楽章 映画「ジョーズ」から “ジョーズのテーマ” 「主人は冷たい土の中に」	・アルトリコーダーの特徴を理解したり、基本的な奏法を身に付け、音楽表現を工夫しながら演奏する。 ・音楽を形づくっている要素の働きや、それらと曲想との関わりについて関心をもち、音楽のよさや美しさを感じながら鑑賞する。 ・楽曲の雰囲気や味わいを支えている音楽の諸要素を知覚する。 ・リズムや旋律などの、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらを生かした音楽表現を工夫して歌う。		2-(3) 友情・信頼
6 7	ハーモニーの美しさ・楽しさ 混声合唱へのステップ ～へ音譜表の理解とパートの役割～	7	My Melody 「エーデルワイス」 「My Voice!」② 「パフ」 混声三部合唱「COSMOS」	・ハ長調の音階の特徴に関心をもち、決まったリズムを生かして旋律をつくる。 ・テクスチャの働きがもたらすハーモニーの美しさを感じ取りながら、基礎的な表現技能を身に付ける。 ・変声について理解し、へ音譜表との関わりを理解する。 ・声部の重なり方の特徴を感じ取る。		2-(1) 礼儀、適切な言動
9	混声合唱へのステップ ～さまざまな曲想の表現～	4	各クラスの合唱曲	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。		4-(4) 役割と責任の自覚、集団生活の向上
10	物語を歌で表現する芸術 詩と音楽との関わり	5	歌曲「魔王」 「赤とんぼ」 「浜辺の歌」	・曲想の変化をもたらす音楽を形づくっている要素を知覚しながら味わって聴く。 ・歌詞と音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って、歌唱表現を工夫する。		3-(2) 自然愛護、豊かな心、畏敬の念
11	アルトリコーダーの響き	5	アルトリコーダーLESSON2 [カノン1]「アニー ローリー」 「ふるさと」	・旋律線に関心をもち、それを生かした音楽表現を工夫して演奏する。		4-(4)
12	言葉と歌声との関わり	4	「Michael, Row The Boat Ashore」 日本の民謡 「さくら さくら」(箏独奏)	・楽曲の特徴や言葉の特性、ハーモニーの美しさを知覚する。 ・日本の民謡のもつ音楽の特徴とその多様性に関心をもち鑑賞する。 ・創意工夫を生かした音楽表現を工夫して演奏する。		役割と責任の自覚、集団生活の向上
1	日本の伝統音楽	2	箏曲「六段の調」 尺八曲「巢鶴鈴幕」	・音楽を形づくっている要素の知覚を通して、日本の伝統音楽の多様性を感じ取る。		
2	アジアの音楽の魅力を探る 心通う合唱	4	アジアの諸民族の音楽 卒業証書授与式の合唱曲	・アジアの音楽の味わいと音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って鑑賞する。 ・声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うと共に、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深める。		4-(7) 愛校心、校風の樹立
3	郷土の音楽	5	〔国歌〕君が代 「校歌」 和太鼓	和太鼓の表現活動を通して、我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わう。		4-(9) 愛国心、伝統の継承を文化の創造
		45				

学習のアドバイス

音楽の授業では、西洋音楽だけでなく様々な国の様々なジャンルの様々な時代の音楽を広く学習します。それらに興味、関心を抱いて、生活の中に取り入れて豊かな情操を養っていきましょう。演奏活動では、正しい姿勢から美しい音色が醸し出されます。日ごろから、授業に取り組む態度や姿勢に気をつけて集中して授業に臨みましょう。

- | | |
|----------------|---|
| ① 音楽への関心・意欲・態度 | 音楽に親しみ、音や音楽に対する関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 |
| ② 音楽表現の創意工夫 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。 |
| ③ 音楽表現の技能 | 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 |
| ④ 鑑賞の能力 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを感じながら聴いている。 |